

タイトル (活動概要)	110 つながったね! みんなの心(長縄とび)	アプローチ (関連する力)	「仲間づくり」⑬ ⑭ 「集団づくり」⑩		
タイミング (実施時期)	クラスができあがり、さらに絆を深めたい時	活動場所	広い場所	所要時間	45分
対象学年	幼・小低・ <input type="checkbox"/> 小中・ <input type="checkbox"/> 小高 <input type="checkbox"/> 中1・ <input type="checkbox"/> 中2・ <input type="checkbox"/> 中3・ <input type="checkbox"/> 高	対象規模	学級	活動場面	体育・学級活動
活動のねらい	<p><背景>共通の課題を友だちと協力して取り組む活動が不足している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して、よりよい集団を作るためにはどんなことが大切かを考える ・一つの課題を仲間と協力して解決する中で、友だちの意見を聞いたり、自分の思いを伝えたりすることの大切さを知る 				
準備	・動きやすい服装・長縄・ストップウォッチ・ハートの枠の模造紙				
学 習・活 動		支援の観点・留意点等			資料等
1 導入		長縄とびをもっと楽しくつなげるためには、どんな態度や言葉がけが必要だろう			
<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが楽しく活動できるように大切なことを出し合う ・ハートの中には気持ちのよい言葉、ハートの外にはいやな気持ちになる言葉を書いていく 		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな模造紙にハートの枠を書き、クラス目標に近づくために、大切なことを考えてみるように働きかける ・みんなが自分の気持ちを伝えられえるように支援する 			模造紙
2 主活動					
<ul style="list-style-type: none"> ○長縄とびをする(発達段階に応じて) <ul style="list-style-type: none"> ・八の字とび(1人ずつ、2人で手をつないで) ・全員とび(はじめから全員が入って) ・全員とび(1人ずつ加わっていく) ○グループごとに目標を決めて行う <ul style="list-style-type: none"> ・1回目の結果からさらに記録を出すために作戦をたて、2回目、3回目を行う 		<ul style="list-style-type: none"> ・少人数のグループから、徐々に大きなグループにしていき、最後には学級全体にしてもよい ・グループを合体させるときには、うまくいっているグループのやり方や声のかけ方を共有できるように支援する ・どうすれば記録がのびるか意見を出し合うように支援する 			
3 ふり返り					
<ul style="list-style-type: none"> ・長縄とびを通してどんな言葉や態度がいい結果に結びついたかをグループでふり返る 		<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが書いた言葉を意識するよう助言する 			
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスのめあてを達成するために必要な態度や思いを共感することがねらいなので、長縄のとびかたは実態に合ったものを行う ・共通体験から生まれた言葉を大切にして、クラスみんなが共通の認識をもてるようにしていく 				